

(様式第9号)

情報公開用文書

「精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究」 へのご協力
のお願い

1, 研究（調査）の目的と概略

精神疾患の診断や治療に関する研究が進められ、そのエビデンスに基づく診療ガイドラインも作成されていますが、それが実地臨床に反映され、役立っているかどうかについてはまだ十分にわかっておりません。そこで本研究においては、精神科における診療ガイドラインの講習を行い、その医療機関における治療に影響を与えるかどうかについての検討を行い、精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果を検証し、より適切な治療が広く行われることを目的としております。

2, 研究（調査）の方法

統合失調症、あるいは、うつ病の診断の元、「入院治療」を受けて退院された患者様に関して、年齢、性別、診断名、症状、処方された薬の内容、担当医の名前等のみを対象とし、臨床経過に関する情報を収集します。氏名や住所は収集いたしません。当院で匿名化された後、研究代表施設である国立精神・精神神経センターに送られて解析に用います。

3, 研究（調査）の参加施設

大学病院を含め、200以上の機関

4, 調査期間

調査期間 研究実施許可日から2027年3月31日まで

5, 調査の対象となる患者様

本研究の対象となるのは、上記調査期間の間に、統合失調症、あるいは、うつ病の診断の元、「入院」の診療を施行された患者様です。

6, この研究への協力は任意です

本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を守ります。データのご使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、